



2022年7月20日

各 位

会 社 名 株式会社ブロードバンドセキュリティ
代 表 者 名 代表取締役社長 滝澤 貴志
(コード 4398 東証スタンダード)
問 合 せ 先 管理本部経営企画部長 高田 宜史
(TEL 03-5338-7430)

サイバー保険付帯の脆弱性診断サービス 提供開始のご案内

情報漏えいIT対策などセキュリティに特化したサービスを提供する株式会社ブロードバンドセキュリティ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：滝澤 貴志、以下 **BBSec**）は、三井住友海上火災保険株式会社（本社：東京都千代田区 取締役社長：船曳 真一郎、以下三井住友海上）との提携により、「サイバー保険を自動付帯した脆弱性診断サービス」を、2022年7月16日より提供を開始いたしました。

■ サービス提供の背景

昨年末から感染拡大の波が収まらないランサムウェアや Emotet（エモテット）と呼ばれる不正プログラムをはじめとするサイバー攻撃による被害は増加の一途をたどり、経済産業省からは2022年上半期において複数回の注意喚起がなされています。Webへの攻撃などのサイバー攻撃の被害は、情報漏えいや事業停止など、時として深刻な被害につながり、事業継続性に影響を与えかねない脅威です。

脆弱性診断は、悪意ある攻撃を受ける前に、自らリスクを発見し、防御するための問題特定のために有効な手段で、**BBSec**では精度の高い手動診断と自動診断を組み合わせ、お客様のシステムの健全化に貢献しております。

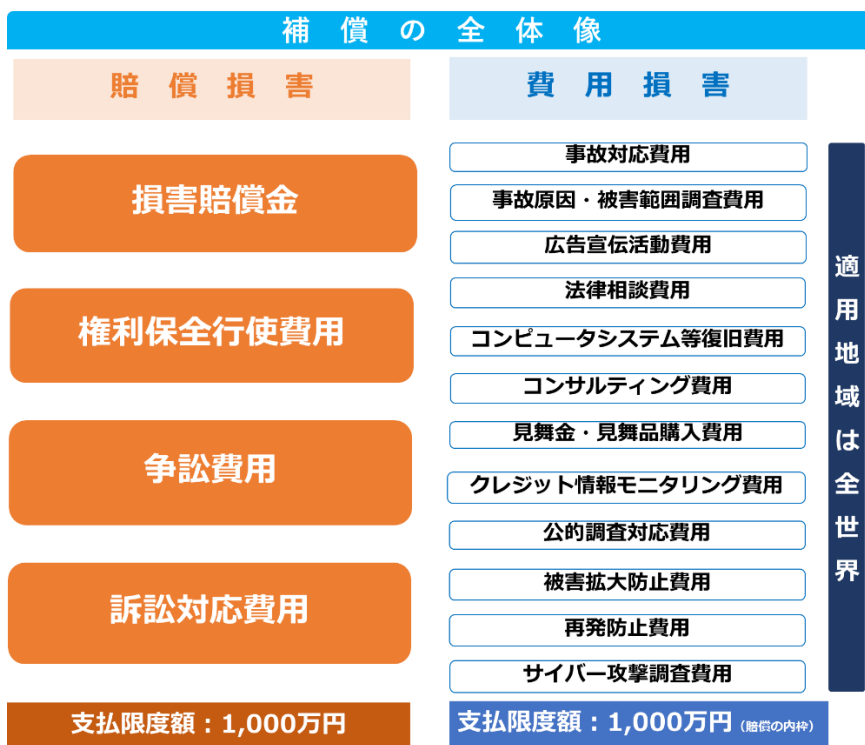
しかしながら、サイバー攻撃手法は日々更新されており、さらに取引先や子会社などを含むサプライチェーンを踏み台にした攻撃など、どんなにセキュリティ対策を実施していても自組織のみではインシデント発生を防ぎきれないのが現状です。

また、インシデント対応には多額の費用が掛かります。費用の問題から十分な初動対応ができないといった問題が発生しかねない状況を憂え、**BBSec**から提供する脆弱性診断サービス「**SQAT@脆弱性診断**」のすべてに、サイバー保険を付帯いたしました。

■サービスの概要

BBSecによる脆弱性診断の契約日から1年間、情報漏えいやサイバー攻撃に起因する賠償損害や、事故発生時に対策を講じた場合の費用損害について、実際の初動対応には平均して1,000万円程度必要であるという当社データをもとに、最大1,000万円まで補償されるプランを付帯いたしました。

<補償概要>



※ 三井住友海上社のサイバープロテクターは下記 URL でご確認いただけます。
(本制度について説明を行っている画面ではございません)

<https://www.ms-ins.com/business/indemnity/pd-protector/>

※ 本制度の詳細は、ご契約後代理店・扱者にお問い合わせください。

●サイバー保険付帯の対象となる脆弱性診断

BBSecのSQAT®セキュリティ診断サービスすべてが対象となります。

また、複数回脆弱性診断を実施した場合、最新の契約日から1年間有効となります。

- WEBアプリケーション脆弱性診断
- ネットワーク脆弱性診断
- スマホアプリ脆弱性診断
- クラウドセキュリティ設定診断
- ソースコード診断
- ペネトレーションテスト
- IoTセキュリティ診断

さらにBBSecはクレジットカード情報漏えい事故調査機関（PFI）であることから、万が一、クレジットカードの情報漏えいが発生した場合でもご相談可能です。

BBSecでセキュリティ対策を実施されたすべてのお客様に対し、「資金面を考慮した次善策」ではなく、最善策を選択いただけるようご支援いたします。サイバー保険付帯のSQAT®セキュリティ診断サービスがその一助となれば幸いです。

【BBSecについて】

BBSecは、ITセキュリティの診断・運用・保守・デジタルフォレンジックを手掛けるトータルセキュリティ・サービスプロバイダーです。「便利で安全なネットワーク社会を創造する」をコンセプトに、2000年11月の設立以来、高い技術力と豊富な経験、幅広い情報収集力を生かし、大手企業、通信事業者からITベンチャーに至るまで、様々な企業のITサービスをセキュリティ面でサポートしています。

【本サービスに関するお問い合わせ】

株式会社ブロードバンドセキュリティ 第1営業本部
TEL : 03-5338-7425 E-mail : sales@bbsec.co.jp

以 上